

英語じゃなくてもOK!

「やさしい日本語」で、 外国人のかたに話しかけてください

問文化国際室

☎724・6769 FAX724・6010



まちで困っているようすの外国人のかたを見かけたとき、「英語が苦手だから」などの理由で声をかけずに終わることはありませんか? そんなときはぜひ、「やさしい日本語」(簡単な日本語)で話しかけてみてください。

現在、箕面市では93カ国2800人の外国人市民が暮らしています。母語はさまざまで、実は、英語よりも日本語のほうが通じるということが多くあります。国の調査では、定住外国人が理解できる言語として、「日本語」62.6%、「英語」44%という結果が出ています。

そして今、注目を集めているのが、外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」です。外国人のかたとコミュニケーションをとるとき、「やさしい日本語」は、自分の考えを分かりやすく伝えるための有効な手段になります。以下では、「やさしい日本語」を使うためのポイントを紹介し、ます。ぜひ参考にしてください!

「やさしい日本語」とは…

外国人にも分かりやすい、簡単な日本語のことです。阪神・淡路大震災では、日本にいた外国人の多くが、難易度の高い日本語を十分に理解できず、必要な情報や支援を受け取ることができませんでした。そこで、外国人に災害情報を迅速かつ正確に伝えるため、考え出されたのが「やさしい日本語」の始まりです。

やさしい日本語 3つのポイント!

難しい言葉避けて、
簡単な言葉に置き換える

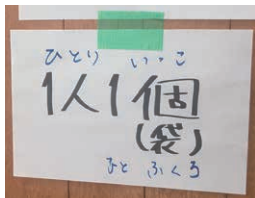
一つの文を短くして、
簡潔にする

あいまいな表現や、
外来語は使わない

箕面市では

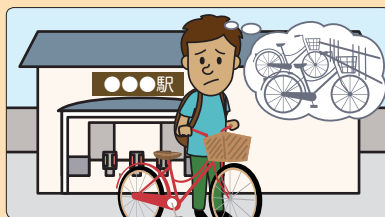
外国人市民向けの『みのお生活ガイド』を、「やさしい日本語」を使い作成しています。上記の3つのポイントのほか、全ての漢字にふりがなをふるなどして、市の情報をできるだけ分かりやすく伝えています。

また、昨年6月の大阪北部地震では、避難所に「やさしい日本語」を使った張り紙をするなどして、外国人市民のかたに情報を伝えました。

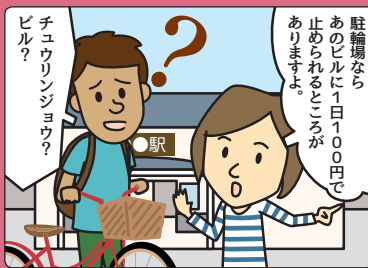


例えば、駅前で…

自転車を止める場所を探している
外国人のかたを発見!



「やさしい日本語」を使わない場合



「やさしい日本語」を使った場合



例えば、レストランの前で…

閉店していて、困っている
外国人のかたを発見!



「やさしい日本語」を使わない場合



「やさしい日本語」を使った場合



多くの外国人市民が理解できる「やさしい日本語」は、日常的な場面はもちろん、情報が生死を分ける災害発生時に、とても大きな役割を果たします。

府では、「やさしい日本語」を活用するための手引きを作り、ホームページ上で公開しています。この機会にぜひ、「やさしい日本語」について考えてみてください。そして、困っていたり、迷っているようすの外国人のかたを見かけたら、「やさしい日本語」で話しかけてみてください。

大阪府

「やさしい日本語活用冊子」

スマホはこちらのQRコードから

やさしい日本語活用冊子 検索



「やさしい日本語」について、詳しくは文化国際室(☎724・6769)へお電話ください